



中原佑介 / 兵庫県立美術館 美術情報センターで、2007年撮影：バンリ NAKAHARA Yusuke at the Art Information Center, Hyogo Prefectural Museum of Art, 2007. Photo by Banri

HART TALK 館長といっしょ! Vol.21

中原佑介が見たもの、語ったもの — 『中原佑介美術批評選集』 完結を記念して

2026.7.4 (土) 14:00 – 15:30 受付13:30

兵庫県立美術館 KOBELCO ミュージアムホール 先着順 / 参加無料 (要コレクション展 | 観覧券)

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 〒651-0073 (最寄駅：阪神岩屋駅 / JR灘駅 / 阪急王子公園駅)

出演 **北川フラム氏** アート・ディレクター、株式会社アートフロントギャラリー代表取締役会長、株式会社現代企画室代表取締役社長

聞き手 **林 洋子** 当館館長

「館長といっしょ!」Vol.21は、国内外で活躍されるアート・ディレクターの北川フラム氏をお招きします。北川氏が総合ディレクターをつとめる「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2000年-)は、現在さまざまな地域で行われている芸術祭の先駆けとして、日本のアートシーンに大きな変革と転換をもたらしました。北川氏は、中原佑介氏(美術評論家、元兵庫県立美術館館長)とも親交が厚く、中原氏の没後、その蔵書が越後妻有に寄贈されたことを機に、『中原佑介美術批評選集』の刊行を手掛けてこられました(現代企画室とBankART1929との共同出版)。今春同シリーズ全11巻が完結したことを記念し、戦後日本を代表する美術評論家である中原佑介の人と批評についてお話しいたします。



Photo Kanemoto Rintaro

北川フラム氏 (きたがわ・ふらむ) プロフィール

新潟県上越市生まれ。東京藝術大学美術学部卒業。展覧会や芸術祭の企画、制作に関わり、2000年から「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、2010年から「瀬戸内国際芸術祭」等の各地の芸術祭の総合ディレクターを務める。2003年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、ポーランド文化勲章、2012年オーストラリア名誉勲章・オフィサー、2018年度文化功労者。2017年朝日賞、2019年イーハトーブ賞など受賞多数。著書に『越後妻有里山美術紀行』(2023年)、『ひらく美術—地域と人間のつながりを取り戻す』(2015年、ちくま新書)など多数。